

ようぼく一斉活動日

11月3日（日・祝） 11月4日（月・振休）



第661号

発行所

天理教静岡教務支庁

〒425-0013

焼津市岡当日1番地

TEL (054) 626-1333

FAX (054) 628-4615

Email:skyou@live.jp



「ようぼく一斉活動日」

更なる充実を目指して

教祖百四十年祭に向かう年祭活動も折り返し地点が過ぎ、十一月三日（日）、四日（月・振替休日）に、第三回

目の「ようぼく一斉活動日」が開催されます。

ようぼく一斉活動日は、同じ地域に住むようぼくが集い、思召に心を揃え、互いに勇ませ合つてともに年祭活動の歩みを進める日として、それぞれの教会や個人の年祭活動の更なる実践につながるべく開催されるものです。

ようぼくが距離的に集まりやすい支部において、定期的な年祭活動の実践を促す場を設けることで、一人でも多くのようぼくが年祭活動への意欲を高め、日々教祖ひながたを目標に実動する契機となるよう、各支部とも工

夫を凝らして準備を進め、今回は教区管内の全二十会場で開催される予定です。

前回行われた第二回目のようぼく一斉活動日は、一回目と比べ内容的にさらに充実したものととなりました。参加者は、横倍状態ではありましたが、一回目に参加できなかったけれども、二回目には参加してくれたという方も多く見受けられました。

第三回目のようぼく一斉活動日は、年祭活動仕上げの年を迎えるに相応しく、ようぼく一人ひとりが新たな気持ちで、更なる成人の歩みを進めることのできる内容となっております。

以上に大勢の方に参加していただけるよう、一人ひとりが布教・丹精の動きを加速し、年祭へ向かうおたすけ活動の実践の歩みに一人でも多くのようぼくが関わっていただけるよう、これまで参加してくれただ方はもちろん、まだ参加していない方、声の届いていない方に対して、教区全体に大きな勇みの渦が巻き起こってくるよう、精一杯つとめさせていただきます。

（会場は四面に掲載）



教区情報ねっとQR

立教187年 道の学生 ひのきしんDAY



天理教学生会では、毎年九月の祝祭日に「道の学生ひのきしんDAY」を実施している。今年も「道につながる学生が、それぞれの場所で行った御守護に感謝して、一手一歩にひのきしんに励み、身の回りの有り難いこ

とをみつける。そして、仲間と共にひのきしんに勇む姿を親神様・教祖にご覧いただき、お喜びいただきたい」との趣旨のもと、心晴れやかに、さあ勇もう！というスローガンを掲げ、全国津々浦々で開催された。静岡教区学生会（松田正治委員長）では九月十四日（土）、焼津市の浜当目海岸と教務支庁を会場に開催。県内各地から参加者が集まり、快晴の御守護をいただいた、午前中は海岸でのゴミ拾いを実施した。

その後、教務支庁の駐車場でバーベキューで昼食。参加者一同舌鼓を打った。

午後一時頃より、神殿にて学生会の親睦行事として、室内オリンピックを行い、大いに盛り上がった。

参加者からは「暑い中の海岸でのゴミ拾いは気持ち良かった！」「サマースクール静岡に参加した子たちと会

えて良かった！」「初めて会った子と友達になれた！」などの声があり、大変有意義な時間となった。

今回の学生会員の参加は八名、昨年の倍の参加を頂いた。その他、少年会員七名（中学生四、小学生三）もあり、学生会の楽しい雰囲気



を味わうことが出来、将来につながるたいとのこと。スタッフ八名、合計二十三名だった。大変賑やかにつとめさせていただくことができた。



新任・教会長を拝命して

西遠支部
本島大教会部属
吉松峰分教会二代会長



よしの まさひろ
吉野 正晃

吉松峰分教会は、祖母である吉野ナツヨの事情から、お道にお引き寄せいただいた事から始まります。
父・吉野俊宏は、昭和四十六年の結婚を機に夫婦で野宿をしながら、各地を転々とし浜松を布教の地と定めました。
より一層の情熱をもつてにをいがけ、おたすけに邁進する中、大教会長様より教会設立のお話があり、平成八年二月二十

六日に吉松峰初代会長の理のお許しをいただき、昨年四月に出直すまで、道一条、たすけ一条につとめて参りました。
私は、天理教校附属高等学校、第二専修科とご卒業後は上級教会への伏せ込みました。
その後、仕事をしながら御用の上に励ませていただきましたが、初代の出直しを通して、諸先生方のお導きにより五月二十六日に尊い理のお許しをいただき、七月四日猛暑の中、二代会長就任奉告祭をつとめさせていただきました。
只今は教祖百四十年祭三年千日の真つ只中です。親神様、教祖にお喜びいただけるようたすけ一条の精神で精一杯努めさせていただきますので、今後とも宜しくお願い致します。

中遠支部
山名大教会部属
竜洋町分教会三代会長



すずき えつこ
鈴木 江津子

四月二十六日、神殿増改築及び任命願のお許しをいただき、七月十四日、神殿増改築並びに三代会長就任奉告祭を無事つとめさせていただきました。
会長夫人として教会活動や婦人会活動に長くつとめておりましたが、出直した二代会長の思いを引き継ぎ、この度の運びとなりました。
昭和四十一年四月二十

代会長のおかげで、未信仰であった私をはじめ子や孫たちにも信仰が伝わっている今日の姿を本当に有り難く思っています。
これまで夏のこともおちばがえりへの取り組みなど少年会活動を通して子や孫、身近な方々への布教・丹精をしてまいりました。これに加えて地域へのをいがけとして、お花や三味線の教室や地域の集まりなどの会場として教会を活用してもらい、未信者の方々にも寄っていた、多くの方々に触れていただく機会を増やしたいと存じます。そして皆様が目指し、先を楽しみに歩んでいきたいと思っております。
今後ともご指導、お力添えの程、宜しくお願致します。

特集 ichizu 一途
skitto 41
「すき」とした気分で暮らすために」をコンセプトに、さまざまな分野のトップランナーの生き方・考え方を紹介する雑誌「すき」と。
A4判/オールカラー/112ページ
9月1日発行 道友社編
《特集》一途
■根幹は人間教育にあり
常勝青学の「原メソッド」
原 晋 青山学院大学陸上競技部監督
■目先の評価に翻弄されず
未来を見据えた大きな仕事を
永山祐子 建築家
■デザインは美しさだけではない
日本デザイン界の異端児が語る仕事術
麴谷 宏 グラフィックデザイナー
■時に敵役も主人公。
歌舞伎が表現する「より晴れやかな世界」
戸部和久 歌舞伎脚本家/演出家

amazonでも発売中

第3回

教祖140年祭

ようぼく一斉活動日

ようぼく一斉活動日は、同じ地域に住むようぼくが集い、思召に心を揃え、互いに勇ませ合って、ともに年祭活動の歩みを進める日です。ようぼくは、毎回参加しましょう。

参加御供 300円

(中学生以下は不要です)

- プログラム
1. 開会挨拶
 2. おつとめ
 3. 諭達拝読 ※諭達をご持参ください
 4. 教会本部からのビデオメッセージ
 5. 会場ごとのプログラム
 6. 閉会挨拶

開催日

11/ 3 (日・祝)

11/ 4 (月・振休)

静岡教区管内支部会場一覧

支部名	開催日	開催時間	会場	会場ごとのプログラム	駐車場 有無	託児の 有無
東伊豆	11月 3日	9:30 ~ 11:30	伊東分教会	おさづけの取り次ぎ実習	有	有
	11月 4日	9:30 ~ 11:30	下田分教会		有	有
伊豆	11月 3日	13:00 ~ 15:00	西浦分教会	ひのきしん(海岸・教会周辺) 会場にて茶話会形式でグループトーク	有	有
	11月 4日	13:00 ~ 15:00	北豆分教会	周辺地域のひのきしん後、 会場にて茶話会形式のフリートーク	有	有
駿豆	11月 3日	9:30 ~ 11:30	佐野原大教会	おさづけ勉強会・おさづけ実体験・おさづけ取り次ぎ説明	有	有
	11月 3日	9:30 ~ 12:30	嶽東大教会	おさづけ取り次ぎ勉強会	有	有
	11月 4日	9:30 ~ 11:30	沼津大教会	座りづとめを中心としたまなび(三日講習会補助教材「お手ふり練習」DVDを使用して)	有	有
	11月 3日	9:30 ~ 11:30	楊原分教会	おさづけについての勉強会	有	有
富士	11月 3日	9:30 ~ 11:30	富士分教会	おつとめ勉強会(お手直し)	有	有
東駿	11月 4日	9:30 ~ 11:30	興津分教会	教友の信仰実践の感話を聞き、茶話会形式でグループトーク	有	有
中駿東	11月 3日	10:00 ~ 12:00	静岡大教会	おさづけの取り次ぎ	有	有
中駿西	11月 3日	9:30 ~ 11:30	安倍分教会	おさづけの取り次ぎ方	無	無
		9:30 ~ 11:30	井川分教会		有	無
		14:00 ~ 16:00	駿府分教会		未定	有
西駿	11月 3日	13:30 ~ 15:15	白羽大教会	感話&懇談(2~3人でのフリートーク)	有	有
	11月 4日	9:30 ~ 11:15	益津大教会		有	有
	11月 4日	13:30 ~ 15:15	静岡教務支庁		有	有
中遠	11月 4日	10:00 ~ 12:30	山名大教会	講話/久松真一先生(天理高校・天理大学OB・脚本家)、茶話会形式でのグループワーク	有	有
西遠	11月 3日	9:30 ~ 11:30	東濱名分教会	講話	有	有
北遠	11月 4日	9:30 ~ 11:30	鹿玉分教会	DVD「船乗り卯之助」を視聴後、婦人会による出し物	有	有

詳細は「教区・支部情報ねっと」の各支部のページでご確認ください。
駐車場のない会場にはなるべく公共交通機関をご利用ください。